

令和8年度 東京都立足立特別支援学校 年間指導計画

学部	高等部 普通科	学年	1・2・3年	学習グループ	サービス班	教科等名	作業学習(サービス班)
年間授業時数	1年326.8時間 2年372.5時間 2年399.2時間	使用教室	集会室	事務・清掃室	使用教科書	なし	
曜日・校時 担当教員	月曜日	2～6校時	MT	吉田 祥子	ST	山崎公嗣、竹川純、森泉佐喜子、山本光美、加藤卓	
	金曜日	2～4校時	MT	吉田 祥子	ST	山崎公嗣、小澤隆太、曽根将真、加藤卓	

ねらい	(1)	作業について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
	(2)	作業に関する課題を発見し、社会人に求められるマナーを踏まえ、解決する能力を養う。
	(3)	社会人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい人間関係の構築を目指して自ら学び、日々の生活の向上に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

学期	単元名	月	時数	主な学習	ねらい	指導の工夫
1 学期	作業の工程を覚えよう	4	1年21.7時間 2年21.7時間 3年21.7時間	・受注作業 【外部】 ハンガーのカバーかけ 【校内】 クリーニング(洗濯)作業	【ハンガーのカバーかけ】 ・実際に売り物として使われる意識をもち、ハンガーやカバーを丁寧に扱う。 ・作業時間集中して作業に取り組み姿勢を養う。	・作業時間をタイムタイマー等で示し、見通しをもち作業できるようにする。 ・必要な道具や手順を記した指示書を作成する。
	作業の工程を覚えよう	5	1年22.5時間 2年22.5時間 3年22.5時間	・うら紙づくり、シュレッダー等の事務作業	【クリーニング作業】 ・洗濯機の使い方を覚える。 ・洗濯物の干し方を学ぶ。 ・洗濯物のたたみ方を学ぶ。 ・洗濯板やアイロン等の使用方法を学ぶ。	・道具置き場を整備し、何がどこにあるかを一目で分かるようにする。 ・終了時間を目に見える場所に提示し、時間を意識し作業できるようにする。
	作業の工程を覚えよう	6	1年40.7時間 2年77.7時間 3年98.7時間		【うら紙づくり等】 ・スタンプをきれいに決められた場所に押す。 ・決められた時間内、座って作業を続ける。	・補助具を用意して、生徒が主体的に作業に取り組めるようにする。 ・挨拶や報告を行う場面を設定する。
	作業の工程を覚えよう	7	1年18.5時間 2年18.5時間 3年18.5時間		【その他】 ・指示の通りに正確に作業ができる。 ・自分から報告、連絡、相談ができる。	・作業日誌の記入を通して活動を振り返り、達成度や注意点を意識できるようにする。 ・出来高表を作成し、作業の成果を生徒自身が理解できるようにする。
2 学期	作業の工程に慣れよう	9	1年26.7時間 2年26.7時間 3年26.4時間			・校外等での活動の場合、安全に活動が行えるよう配慮し、危険な箇所を事前に把握して実施できるように準備する。
	作業の工程に慣れよう	10	1年21.5時間 2年21.2時間 3年86.5時間			
	作業の工程に慣れよう	11	1年52.5時間 2年84.5時間 3年31.5時間			
	作業の工程に慣れよう	12	1年46.5時間 2年23.5時間 3年23.5時間			
3 学期	文化祭に向けて準備しよう	1	1年18.2時間 2年18.2時間 3年18.2時間	・サービス班の紹介 ・これまでの作業の振り返り	・学習の成果を振り返る。 ・作業の様子を伝えられる掲示物等を作る。	・デジタルカメラで撮影した写真等を利用する。 ・タブレット端末等を活用して、視覚的に分かりやすく提示する。
	作業のまとめをしよう	2	1年34.5時間 2年34.5時間 3年31.2時間	・受注作業 【ハンガーのカバーかけ】 【校内における受注作業】 ・クリーニング作業 ・うら紙づくり、シュレッダー、封筒作り等の事務作業 ・校外へのポスティング作業(年間を通し数回行う)	・一連の流れを把握し、できるだけ一人で作業を進める。 ・自分の課題を認識し、目標達成のために努力する。 ・分担された作業を確実に行う。	・事務清掃室の片付けをし、動きやすい動線について再検討する。 ・今年度頑張ったことをお互いに評価し合い、次年度への意欲を高める。
	作業のまとめをしよう	3	1年23.5時間 2年23.5時間 3年20.5時間			
通年	・学年作業 ・校内実習	通年		・教室整備、清掃作業等 ・軽作業等	・協力して清掃作業や教室整備を行う。 ・マナーやルールを理解して作業する。	・手本を示したり、手順を一定にして分かりやすく作業を進める。 ・視覚教材を用意する。